

## 内視鏡外来

当院では卵巣腫瘍、子宮筋腫、子宮内膜症、子宮外妊娠などの良性疾患を対象に腹腔鏡手術を施行しています。年間症例数は約 260 件と京都府下ではかなり多い病院となっています。

婦人科腹腔鏡手術は臍と下腹部に小さな創をあけ、二酸化炭素ガスを注入、腹壁をもちあげてスペースをつくります。鉗子と呼ばれる細い器械をお腹の中に挿入し、手術を行います。そのため、開腹で行う手術とは異なった知識や技術が必要です。

創部が小さいために術後の痛みも少なく普段の生活に早く戻れますし、傷も目立ちにくくなります。

一般的には開腹で行うような、臍近くまであるような巨大な卵巣腫瘍や子宮筋腫などでも、術前の投薬や手術方法の工夫で小さな創から取り出すことが可能であり、腹腔鏡手術可能な場合があります。



基本的には 5 mm または 12 mm の創 4 か所の 4 孔式で行うことが多いですが、可能であれば創を減らして行います。3 cm 程度の小切開を必要とする場合もありますが、開腹手術の創部に比べるとかなり小さいものとなります。

(臍部 2.5 cm、左臍・左右下腹部 5 mm 創の場合、術後 1 年) ▶  
※ 治癒経過には個人差があります。



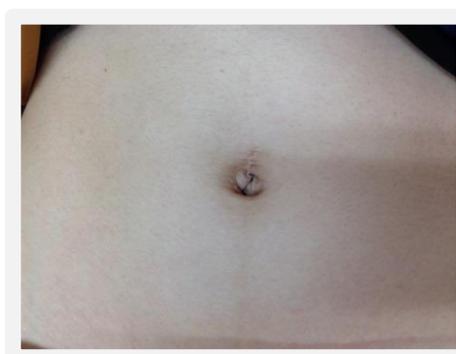
最近、腹腔鏡手術での事故例がニュースとなり、危険性を心配する患者様たちの声もあります。当院の腹腔鏡手術は開腹手術を腹腔鏡下に再現するというコンセプトで行っており、何にもましてまず安全が第一ですので、腹腔鏡手術で安全に終了可能かを術前にしっかり検討したうえで決定しています。術前に経過と手術内容をしっかりご説明し、安全が担保されない場合は開腹手術に変更になる可能性があることもご理解を得て、手術を行っております。現在のところ、実際に手術途中で不測の事態のために開腹に術式変更する症例はほぼなく、術前の評価が的確に行われている結果と考えています。

●主な診療実績

		2013年度	2014年度	2015年度	
<b>婦人科</b>					
良 性	内視鏡手術		241	275	257
	腹腔鏡	腹腔鏡下子宮全摘術	48	61	62
		腹腔鏡下子宮筋腫核出術	56	44	44
		腹腔鏡下卵巣腫瘍手術	81	94	81
		腹腔鏡下子宮内膜症手術	36	37	37
		腹腔鏡下子宮外妊娠手術	8	17	10
	(以上のうち単孔式)		(37)	(35)	(31)
子宮鏡	子宮鏡下手術(筋腫・内膜ポリープ)	12	22	23	

●臍部単孔式手術

臍1か所に3cm弱の創をあげ、その部分の傷のみで腹腔鏡手術を行う方法です。卵巣腫瘍の付属器切除術、子宮外妊娠、筋腫核出術（小さいもの）などを対象にしています。腹部に数mmの傷を追加する場合があります。臍の傷は3cm弱ですが、ほとんど臍のくぼみに隠れるため、わからなくなることも多く整容性に優れています。



▲（臍部 2.5 cm、単孔式、術後1年）  
※治癒経過には個人差があります

●担当医より：

他院で手術を勧められ、開腹手術しか行えないと言われた、できるだけ小さい傷、少ない傷で手術を受けたい、痛みの少ない方法がいい、早期退院を希望するという方は一度ご相談ください。内視鏡外来は直接予約可能です。可能であれば紹介状・前医で撮影されたMRIなどの画像データを持参ください。

安心して治療を受けて頂けるように配慮しています。また、患者様一人一人の背景・年齢・希望が異なるため、その方にとっての最善の治療法というのが同じ疾患であっても異なる場合があります。そのため、内視鏡手術以外の治療法をご提示することもあります。質問があれば、なんでもお聞きください。一緒に最善の治療法を探しましょう。

●退院までのスケジュール：

手術前日の入院、手術、術後3-4日目の退院、で計5-6日間が標準の入院期間となります。

術翌日より歩行開始、術後1-2日目よりシャワー可能です。

(内視鏡外来：金曜日 午後3:00～ 担当 内視鏡技術認定医 衛藤美穂)